



# デスティネーションボリュームをアクティブ化 System Manager Classic

NetApp  
June 22, 2024

# 目次

デスティネーションボリュームをアクティブ化 .....	1
ソースボリュームのステータスを確認 .....	1
SnapMirror 関係を解除 .....	2
デスティネーションボリュームのステータスを確認 .....	3

# デスティネーションボリュームをアクティブ化

データが破損した場合や誤って削除した場合、あるいはオフライン状態の場合など、データをソースボリュームから提供できないときは、ソースボリュームのデータをリカバリするまでの間、デスティネーションボリュームをアクティブ化してデータアクセスを提供する必要があります。アクティブ化には、以降の SnapMirror データ転送の中止と、SnapMirror 関係の解除が伴います。

## ソースボリュームのステータスを確認

ソースボリュームを使用できないときは、ソースボリュームがオフラインになっていることを確認し、データアクセスのためにアクティブ化する必要があるデスティネーションボリュームを確認する必要があります。

このタスクについて

このタスクは \* source \* cluster で実行する必要があります。

手順

1. [\* Volumes (ボリューム) ] ウィンドウに移動します。
2. ソースボリュームを選択し、ソースボリュームがオフラインになっていることを確認します。
3. SnapMirror 関係のデスティネーションボリュームを特定します。
  - ONTAP 9.3 以降：ソースボリュームをダブルクリックして詳細を表示し、\* protection \* をクリックして、SnapMirror 関係のデスティネーションボリュームと、ボリュームが含まれている SVM の名前を特定します。

Volume: vol\_mirror\_src

Overview | Snapshots Copies | Data Protection | Storage Efficiency | Performance

Health	Destination SVM	Destination Volume	Destination Clu...	Relationship...	Transfer S...	Type	Lag Time	Policy
✓	svm2	vol_mirror_src_dst	cluster2	Snapmirrored	Idle	Version-Flexible ...	45 min(s)	MirrorAllSnap...

- ONTAP 9.2 以前：Volumes (ボリューム) ページの下部にある \* Data Protection \* (データ保護 \*) タブをクリックして、SnapMirror 関係のデスティネーションボリュームと、ボリュームが含まれている SVM の名前を確認します。

Name	Aggregate	Status	Thin Pro...	% Used	Availabl...	Total Sp...	Storage ...	Is Volu...	Encrypted
svm1_svm1_root...	aggr2	Online	No	5	970.48 MB	1 GB	Disabled	No	No
svm1_vol123_vault	aggr2	Online	No	5	121.35 MB	128.02 MB	Enabled	No	No
Vol1	aggr3	Offline	-NA-	-NA-	-NA-	-NA-	Disabled	No	No
svm2_root	aggr1	Online	No	5	971.12 MB	1 GB	Disabled	No	No

Destination St...	Destination Vo...	Is Healthy	Relationship St...	Transfer Status	Type	Lag Time	Policy
svm1	vol1	Yes	Snapmirrored	Idle	Mirror	7 day(s) 12 hr(s)...	DPDefault

Details | Space Allocation | Snapshot Copies | Storage Efficiency | **Data Protection** | Volume Move Det | Performance

# SnapMirror 関係を解除

デスティネーションボリュームをアクティブ化するには、SnapMirror 関係を休止して解除する必要があります。休止した時点で、以降の SnapMirror データ転送は無効になります。

作業を開始する前に

デスティネーションボリュームをデスティネーション SVM ネームスペースにマウントしておく必要があります。

このタスクについて

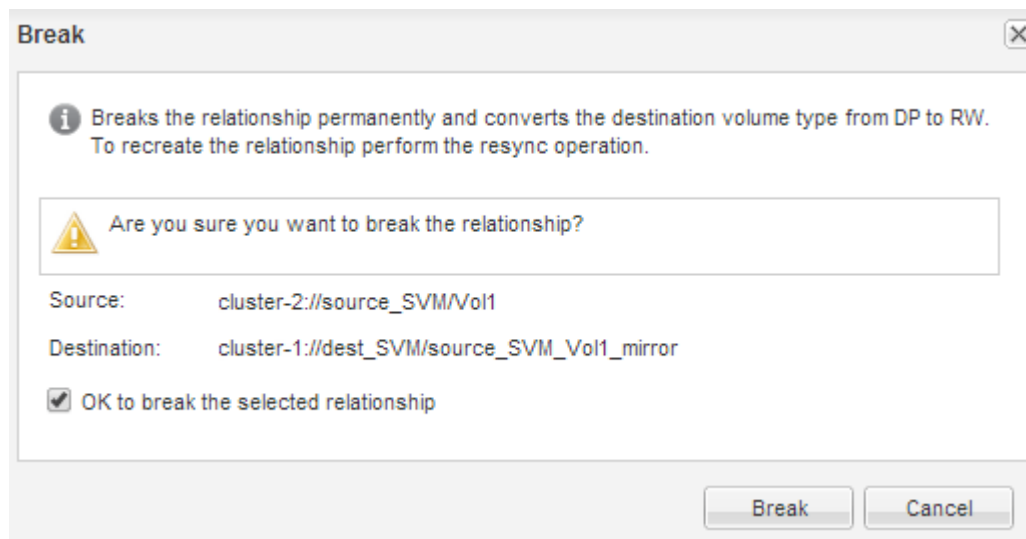
このタスクは、\* デスティネーション \* クラスタから実行する必要があります。

手順

1. 実行している System Manager のバージョンに応じて、次のいずれかの手順を実行します。
  - ONTAP 9.4 以前： [ \* 保護 \* ] > [ \* 関係 \* ] をクリックします。
  - ONTAP 9.5 以降： \* Protection \* > \* Volume Relationships \* をクリックします。
2. ソースボリュームとデスティネーションボリュームの間の SnapMirror 関係を選択します。
3. [ \* 操作 \* ] [ \* 休止 \* ] をクリックして、以降のデータ転送を無効にします。
4. 確認のチェックボックスをオンにし、\* 休止 \* をクリックします。

休止処理には時間がかかることがあります。転送ステータスが Quiesced。

5. [ 操作 ( Operations ) ] > [ \* 分割 ( \* Break ) ] をクリックする。
6. 確認のチェックボックスをオンにし、\* ブレーク \* をクリックします。



SnapMirror関係の状態 Broken Off 状態。

Source Sto.	Source Vol.	Destinatio	Destinatio	Is Healthy	Relationsh	Transfer St.	Relationship	Lag Time	Policy Name	Policy Type
svm1	svm1_root	svm1_svm1_j...	svm2	Yes	SnapMirrored	Idle	Mirror	26 min(s)	DPDefault	Asynchronous
svm1	vol1	svm1_vol1_m...	svm2	Yes	Broken Off	Idle	Mirror	None	DPDefault	Asynchronous

Source Location:	svm1.vol1	Is Healthy:	Yes	Transfer Status:	Idle
Destination Location:	svm2:svm1_vol1_mirror	Relationship State:	Broken Off	Current Transfer Type:	None
Source Cluster:	cluster-1	Network Compression Ratio:	Not Applicable	Current Transfer Error:	None
Destination Cluster:	cluster-1			Last Transfer Error:	None
Transfer Schedule:	hourly			Last Transfer Type:	Update
Data Transfer Rate:	Unlimited			Latest Snapshot Timestamp:	02/22/2017 13:05:00
Lag Time:	None			Latest Snapshot Copy:	snapmirror-9b4das7c-e5d0-11e6-b44e-00a08981a1bda_2149622820_2017-

## デスティネーションボリュームのステータスを確認

SnapMirror 関係を解除したら、デスティネーションボリュームに読み取り / 書き込みアクセスが設定されていること、およびデスティネーションボリュームの設定がソースボリュームと同じであることを確認する必要があります。

このタスクについて

このタスクは、\* デスティネーション \* クラスタから実行する必要があります。

手順

1. [\* Volumes (ボリューム) ] ウィンドウに移動します。
2. [ボリューム]\*リストからデスティネーションボリュームを選択し、デスティネーションボリュームのタイプがであることを確認します。`rw`読み取り/書き込みアクセスを示します。
3. デスティネーションボリュームのシンプロビジョニング、重複排除、圧縮、自動拡張などの設定がソースボリュームと同じになっていることを確認します。

SnapMirror 関係の作成後にメモしたボリューム設定情報を使用して、デスティネーションボリュームの設定を確認することができます。

4. ボリュームの設定が一致しない場合は、必要に応じてデスティネーションボリュームの設定を変更します。
  - a. [編集 (Edit) ] をクリックします。
  - b. 必要に応じて、環境の一般設定、Storage Efficiency 設定、および高度な設定を変更します。
  - c. [保存して閉じる] をクリックします。

**Edit Volume**

General Storage Efficiency Advanced

Name: vol123

Security style: Mixed

Configure UNIX permissions (Optional)

	Read	Write	Execute
Owner	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
Group	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
Others	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

Thin Provisioned

When a volume is thin provisioned, space for the volume is not allocated in advance. Instead, space is allocated as data is written to the volume. The unused aggregate space is available to other thin provisioned volumes and LUNs.

[Tell me more about Thin Provisioning](#)

Save Save and Close Cancel

- d. ボリューム \* リストの列が適切な値に更新されていることを確認します。
5. デスティネーションボリュームの Snapshot コピーの作成を有効にします。
  - a. ONTAP のバージョンに応じて、次のいずれかの方法で「\* ボリューム Snapshot コピーの設定 \*」ページに移動します。
 

ONTAP 9.3 以降：デスティネーションボリュームを選択し、\* Actions \* > \* Manage Snapshots \* > \* Configure \* をクリックします。

ONTAP 9.2 以前：デスティネーションボリュームを選択し、\* Snapshot コピー \* > \* 設定 \* をクリックします。
  - b. Enable scheduled Snapshot Copies (スケジュールされた Snapshot コピーを有効にする) チェックボックスをオンにし、\* OK \* をクリックします。

Configure Volume Snapshot Copies

Snapshot Reserve (%): 5

Make Snapshot directory (.snapshot) visible  
Visibility of .snapshot directory on this volume at the client mount points.

Enable scheduled Snapshot Copies

**Snapshot Policies and Schedules**

Select a Snapshot policy that has desired schedules for Snapshot copies:

Snapshot Policy: default

Schedules of Selected Snapshot Policy:

Schedul...	Retained S...	Schedule	SnapMirror Label
hourly	6	Advance cron - {Minu...	-
daily	2	Daily - Run at 0 hour 1...	daily
weekly	2	On weekdays - Sund...	weekly

Current Timezone: US/Pacific

[Tell me more about Snapshot configurations](#)

OK Cancel

## 著作権に関する情報

Copyright © 2024 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。